

年度 2009 学期 前・後期	曜日・校時 前月3/前月4/前火3/後月3/後月4/後火3	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	スポーツ演習(ソフトボール・卓球) Sport and Exercise		
対象年次 1年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等) 月3:E8~10、月4:E5~7、火3:La~d	科目分類 健康・スポーツ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:坂本圭司/Eメールアドレス:k-sakamoto@s-f-nagasaki.com/研究室:総合体育館2F(体育教官室) / TEL: /オフィスアワー:授業前後の休み時間			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法: 「ソフトボール」と「卓球」の二つの球技を題材として、それぞれの球技が持つ特性を理解し、打つ、投げる、などの基礎的な技術を身に付ける。また、ゲームを中心に行うことで、発展的な技術や戦術を身に付け楽しくゲームが行えるようにする。さらに自らが課題を見つけ、解決していくことで、生涯スポーツとして実践していける方法を身に付ける。 授業到達目標: ボールを正確に投げるができる。打つことができる。(ソフトボール) 打球を返すことができる。ラリーができる。(卓球) ルールや戦術を理解し楽しくゲームができる。仲間と課題や戦術について積極的に話し合うことで課題を解決しチーム力を高めることができる。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) ソフトボールと卓球においてそれぞれの基礎的な技術でゲームを行い、その中で徐々に発展的な技術や戦術を取り入れていきゲームのレベルを高めていく。 第1回 オリエンテーション(授業の進め方) 第2回 ソフトボール 基礎的な技術の習得 チーム分け 第3回 ソフトボール ゲーム 第4回 ソフトボール ゲーム 第5回 ソフトボール ゲーム 第6回 ソフトボール ゲーム 第7回 ソフトボール ゲーム 第8回 ソフトボール ゲーム 技能テスト 第9回 卓球 基礎的な技術の習得 第10回 卓球 ゲーム 第11回 卓球 ゲーム 第12回 卓球 ゲーム 第13回 卓球 ゲーム 第14回 卓球 ゲーム 第15回 卓球 ゲーム 技能テスト			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加 50% 授業への取り組み方(授業での意欲・態度・貢献度) 20% 技能テスト 30% 授業への出席状況および取り組み方(集団での行動や話し合いへの積極的な参加)を評価する。 欠席が3回以上の者は失格とする。技能テストでは基礎的な技術をテストする。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)			